

## 「月刊薬事 2026年1月号（Vol.68 No.1）」訂正のお知らせ

ご購入いただきました「月刊薬事 2026年1月号（Vol.68 No.1）」（2026年1月発行）の連載『基本的な手法と投与設計の考え方が学べる TDMベーシックレクチャー』におきまして、以下の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

2026年1月

### 【正誤表】

該当頁	該当箇所	内容		登録日
133頁	症例を用いて投与設計をしよう ①手計算による投与設計 7～10行目	誤	「抗菌薬TDM臨床実践ガイドライン2022」掲載の投与設計表より、今回は1回1,000mg、1日2回から開始することにします。ただし、やはり高齢患者であり臓器機能は一般的に低下していることが多いので、このような場合は、早期にTDMを実施して調整することを意識するのがよいでしょう。	2026.01.16
		正	「抗菌薬TDM臨床実践ガイドライン2022」掲載の投与設計表では、1回1,250mg、1日2回と記載されていますが、やはり高齢患者であり臓器機能は一般的に低下していることが多いので、やや減量することも考慮されます。いずれにせよ、このような場合は、早期にTDMを実施して調整することを意識するのがよいでしょう。本症例では、やや減量して1回1,000mg、1日2回から開始することにします。	

（最終更新日：2026年1月16日）